

第37回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 25 年 11 月 22 日（金）19：00 ～ 20：30

場 所：福岡国際会議場 5 階 中会議室 502・503

〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1 ※次ページの地図をご覧ください

参加費：1,000 円 募集定員：150 名

【申込方法】

■必要事項①所属施設名・住所（施設に所属してなければご自宅の住所で結構です）②氏名（ふりがな）③電話番号④「第 37 回講習会受講希望」と明記のうえ、ハガキもしくは FAX にて下記事務局までお申込ください。申込締切は平成 25 年 11 月 14 日（木）です（当日消印有効）。11 月 19 日（火）までに先着 150 名様へ入場券を送付します。入場券がお手元に届かない場合はお申込みが受け付けられておりませんので、下記事務局までご連絡ください。

■入場券がない場合は受講できません。当日の申込は受付けておりませんのでご了承ください。

■当委員会ホームページ（<http://fukuokahaisetsu-net.org/>）でも申込を受け付けておりますので、ぜひご覧ください。

■締切日以降は、お電話にて直接お問合せください。締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

■お申込によりご提供いただく個人情報、講座出欠および今後の活動のご案内以外の目的で使用されることはありません。

テーマ：認知症

開会の挨拶：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

講 演：『認知症と排泄』

講師：藤木 富士夫 先生（原三信病院 脳神経内科 部長）

～講師からのコメント～

認知症と排泄について、幾つかの視点から考えてみたい。①排泄トラブルを合併する認知症。認知症に合併する尿失禁、頻尿、便秘がある。正常圧水頭症は、認知機能低下、尿失禁、歩行障害を特徴し、外科処置にて治る認知症である。また、レビー小体病は、初期から便秘や頻尿が見られる。こうした疾患をしっかり鑑別することは重要である。②薬剤と認知症。薬剤により認知機能が低下する例、抗認知症薬のために起こった排泄トラブルがある。薬剤の功罪を考えたい。③認知機能低下に伴う排泄トラブル。トイレで排泄できない、トイレを汚すなど様々なトラブルが介護者の負担となる。その対応のヒントを探る。④生活習慣病と認知症。糖尿病や高血圧など生活習慣病が認知症のリスクとなることは知られている。また生活習慣病と膀胱機能異常（膀胱血流低下、血管内皮障害）なども注目されている。全ての病の根源となりえる生活習慣に焦点を絞ってみたい。生活習慣を根本的に見直すことが、疾患の進行のみならず、予防になると信じてみたい。こうした視点から認知症の理解を深め、それに伴う排泄ケアのヒントが見つければ幸甚である。

閉会の挨拶：武井 実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会・ファイザー株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会・福岡市医師会・福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9：00～17：00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812

～会場までのアクセス～

